

感染症対策の基礎知識

72. 筋小胞体、細胞膜 (T 管) の Ca チャネルと悪性症候群①
73. 筋小胞体、細胞膜 (T 管) の Ca チャネルと悪性症候群②
74. 抗癲癇薬①
75. 抗癲癇薬②
76. 脳神経科学
77. 感染症の非特異検査 (プロカルシトニン)
78. 肝炎とワクチン
79. ヘルペスウイルス (Epstein-Barr、サイトメガロウイルス)
80. ワーファリン惹起性皮膚壊死とヘパリン誘起性血小板減少症
81. 代替・補完医療とトンデモ
82. 薬用石鹼の禁止
83. ピロリ菌感染症
84. 日本国内専用薬
85. 赤痢と偽膜性大腸炎 (Clostridium difficile)
86. 感染予防対策の成立
87. 感染の成立
88. 体内埋め込み電子機器の処理
89. 感染症法
90. アウトブレイク
91. パスツールと狂犬病ワクチン
92. ウイルス、レトロウイルス、ファージ
93. グラム陰性菌とエンドトキシン
94. 非病原性菌 (時々病原性) 2
95. 非病原性菌 (時々病原性) 3 多剤耐性アシネトバクター
96. 抗菌薬ー 1 (β ラクタム環とアミングリコシド)
97. 抗菌薬ー 2 (殺菌的/静菌的抗生剤)
98. 抗菌薬ー 3 (β ラクタム環耐性)
99. 抗菌薬ー 4 (グリコペプチドに対する耐性)
100. 抗菌薬ー 5 (緑膿菌類、バークホルデリア、ステノトロホモナス)
101. 抗真菌薬
102. 微生物の進化
- 103.
- 104.
- 105.
- 106.